

平成二十一年十二月二日提出
質問第一七〇号

一般職の職員の給与に関する質問主意書

提出者
石田真敏

一般職の職員給与に関する質問主意書

内閣に対し、次の事項について、質問する。

一 地域における民間賃金との格差が公務員給与に適切に反映されるよう、俸給表の水準及び地域手当の支給率、支給地域のあり方について、常時検証に努め、適切な見直しを行う意思はあるか。また、地域における民間の給与水準を上回っている地方公共団体に対し、必要な是正措置を速やかに講ずるよう、必要な助言を行う意思はあるか。

二 国家公務員の給与水準に民間の賃金水準が適切に反映されていないかとの国民の疑問に応え、民間給与実態調査に関し、調査対象となる事業所の拡大など、民間の賃金の実態をよりの確に把握するための方策について検討を行う意思はあるか。また、給与・退職金・年金全てを合わせた公務員の生涯賃金についても、民間との比較検証を行う意思はあるか。

三 経済情勢の変動等に伴い、民間給与の状況に大きな変化が予測される場合には、情勢適応の原則に鑑み、随時、特別調査を行い、必要に応じて臨時勧告を行う等情勢の変化への迅速な対応に努める意思はあるか。

四 民主党は第四十五回衆議院議員総選挙におけるマニフェストで「最低賃金の全国平均千円を目指す」としているが、行政機関に勤務する非常勤職員の賃金についても同様の措置を講ずる意思はあるか。

右質問する。